

# 厳冬期避難所展開・宿泊演習 2020 実施概要

日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター

根本 昌宏

## 1. 開催趣旨

日本赤十字北海道看護大学は、冬期に災害が生じた際の対応策を実践的に明らかにすることを目的に研究を推進しています。冬期の停電を伴う災害は既存の暖房機器を使用不能とし、避難所として指定されている場所においても低温により命を落とす恐れがありますが、避難所運営マニュアルを含め冬期の避難所対策は厳しい現状です。この事案は北海道だけでなく、沖縄を含め全国で想定され、寒さ対策を踏まえた就寝を可能とする避難所の提供方法の確立、トイレを始めとする健康保持に不可欠な資機材の展開、温かい食事の供給など温暖期とは異なる対応策が求められています。

昨年度の演習では氷点下 10 度の屋外環境において、段ボールベッドをベースとしたダクトヒーター暖房体育館を提供し、冬対策の基礎を検証しました。10 回目の実施となる厳冬期避難所展開・宿泊演習 2020（通称：厳冬期災害演習 2020）は、さらなる課題解決を進め、「専門職能者」をキーワードとして命を護る避難所を提言するとともに、演習参加者の冬期対応能力の向上を目的として実施します。本年度は、北海道防災総合訓練（冬期）と同時開催いたします。避難所内のみならず、車中泊について、「冬の安全な車中泊」をテーマに車内対応演習を実施します。

## 2. 開催要領

### 1) 日時・場所

2020 年 1 月 25 日（土）13 時 00 分 ～ 1 月 26 日（日）15 時 00 分

日本赤十字北海道看護大学 講堂、学生食堂、体育館、屋外、駐車場  
（北見市曙町 664 番地 1 電話 0157-66-3311）

### 2) 主催：日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター

共催：北海道、北見市、日本赤十字社北海道支部、網走地方道路防災連絡協議会、  
避難所・避難生活学会

後援：国土交通省北海道開発局網走開発建設部

### 3) プログラム概要

1 日目 開会式、オリエンテーション、厳冬期トイレ展開演習、厳冬期屋内避難所設営・体験演習（ブルーシート演習、段ボールベッド演習）、避難所開設・展開に関するセミナー、炊き出し演習（夜）、エンジン停止車内滞在演習、二酸化炭素フリー暖房設営演習、足浴による低体温症対処演習、避難所宿泊演習

2 日目 炊き出し演習（朝）、避難所撤収演習、エコノミークラス症候群に関するセミナー、グループワーク、炊き出し演習（昼）、避難所内環境データ公表、総括

### 4) 参加予定者（防災に関わる専門職のみ、一般不可）

日本赤十字社、災害医療従事者、防災関係者（自治体、保健師、栄養、リハビリ、社協、資機材関連企業）、教育関係者、北海道開発局、北海道、北見市、報道関係者

①定員：公募先着 120 名

②募集期間：2019 年 11 月 19 日（火） ～ 12 月 20 日（金）

5) 本年度の新規企画案件

- ①段ボールベッド移送演習（道庁訓練との協働）
- ②ダクトヒーター暖房持続演習
- ③災害用ガス湯沸かしシステム展開演習
- ④寒冷地対応型ディスポ寝袋の実証演習
- ⑤新型コンテナ型トイレ展開演習
- ⑥避難所環境に関する科学的評価
- ⑦冬期の炊き出しに関する実践検証

6) 参加者持参品

所属団体の服装（ベストやビブスの着用）、個人用避難生活用具、寝袋（冬用推奨）、懐中電灯（ヘッドライト推奨）、上履き（必須）

7) 参加費：無料

8) 本演習の公表

本演習は成果を広く防災関係者ならびに寒冷地域に暮らす市民に周知するため、新聞、テレビ等すべてのメディアに公開・公表します。宿泊を含めた同行取材も可能とします。但し個人情報保護には十分ご留意を願います。

9) 問い合わせ先

本演習に関するお問い合わせ先

日本赤十字北海道看護大学 災害対策教育センター

電話 0157 (66) 3311 FAX 0157 (61) 3125

メール [bousai@rchokkaido-cn.ac.jp](mailto:bousai@rchokkaido-cn.ac.jp)